

中間反抗期って？



イヤイヤ期と思春期の間(5~9歳)
におとずれる。

第2次認知革命の時期とも重なる。

- 大脳前頭葉の「ワーキングメモリー」が、海馬や扁桃体とネットワーク化され、それぞれの部位が連携して働くようになる
- 未来を意識してプランを立てる力や、自分の行為を振り返って反省する「メタ認知能力」が発達し始める

イライラの表現

- 男子：ものを投げる、暴れる、乱暴な言葉を使う
- 女子：口ごたえや屁理屈、無視など言語的コミュニケーションに関わる表現

その他：嘘を付く

メタ認知能力って？

幼児の自己中ば性→人との比較

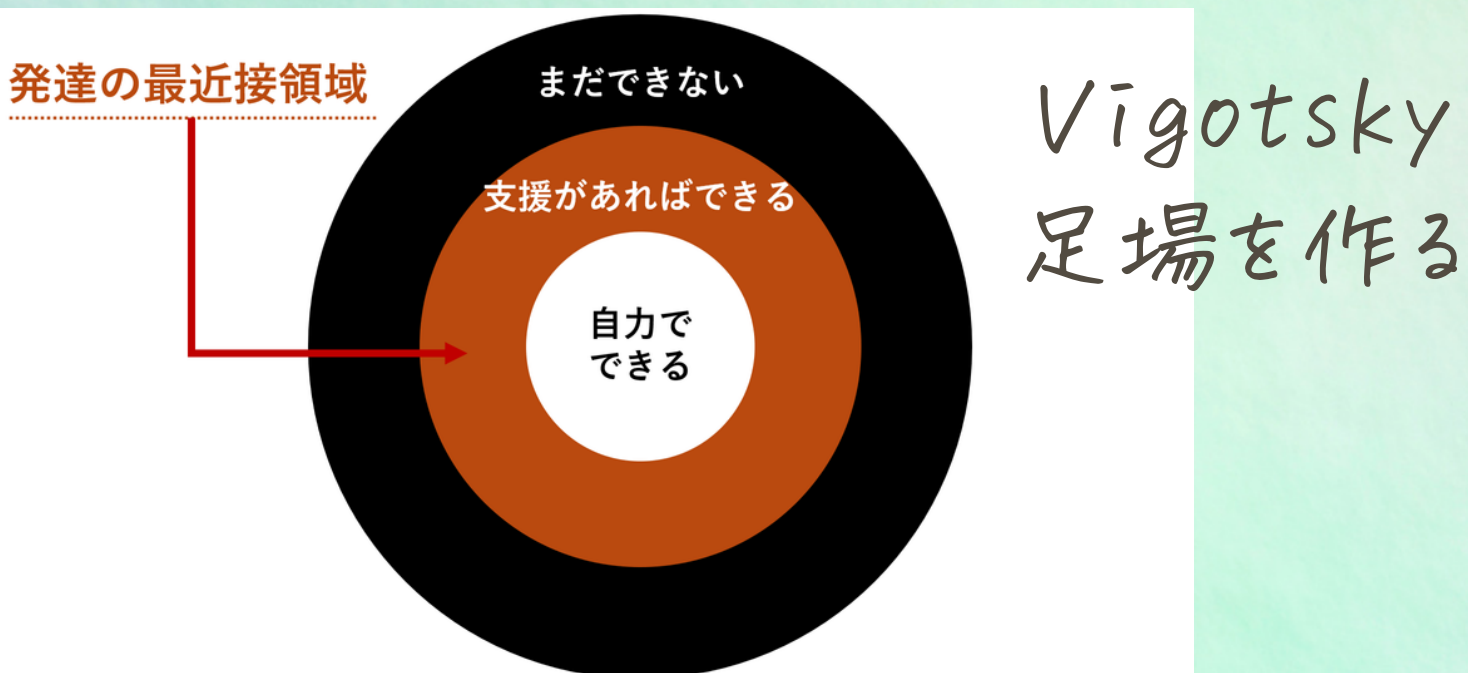
もう一人の自分が自分を見ている
→客観視

「嫌だ！！」→自分は嫌だと感じているんだな。

小1～の変化

- 小学校で評価を受けるようになる
- 1日中遊び→1日中学習 環境の変化によるストレス
- 親と自分は違う人間→自立
- 他者との比較で優越感・劣等感を感じる
- 求められることは増える→できることとできないことを分ける

うちの子勉強ができないんです…具体的には？



中間反抗期の対応



①心理的リアクタンスをまずは減らす

- ~しなさい（指示・命令・強制）→
~してみようか（提案）どうしたい？（質問）
- 他者との比較を避ける・過去の子どもと比較して褒める

②メタ認知能力を伸ばす関わり

1. その活動の目標や内容を立ち止まって考えられるような声かけ

- 「どんなことをしたい？」
- 「どんなものを作りたい？」

2. 別の視点や考えを提示する声掛け

- 「〇〇って考えもあると思うんだけど、どうかな？」
- 「先生は〇〇と言っていたけど、あなたはと思う？」

3. メタ認知を促す声掛け

- 「いま何をしているの？」
- 「何に困っているの？」

引用：幼児期におけるメタ認知の発達と支援

藤谷 智子（武庫川女子大学文学部教育学科）

中間反抗期の対応



4. メタ認知を働かせたことを賞賛する声掛け

「いまの考え方は素敵だね！」

「何に困っているかきちんとお母さんに伝えられたね！」

5. 振り返りを促す声掛け

「どんなところを工夫したのかな？」

「途中で嫌になったって言ってたけど最後までがんばったね！どんなことを考えたの？」

6. 協調性を高めるためのメタ認知を促す声掛け

「お兄ちゃんと〇〇くんは違う考えだね、どうしたらいいかな？」

「どうやってお兄ちゃんと仲直りしたの？」

+@. 感情のメタ認知を促す声掛け

「今どんな気持ち？」

「その気持ちは%/色で表すとどんな感じ？」

親は答えを教える存在（ティーチャー）→
子どもに考えさせ答えを引き出す存在
（コーチ）へ